

つくろう、未来を。
つくろう、素材で。

2021年5月28日
愛知製鋼株式会社

国際ステンレススチールフォーラム（ISSF）において垂直緑化ユニット 「パーティカル・フォレスト[®]」が「Best Development Award」受賞

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：藤岡高広）は、5月25日（火）、「国際ステンレススチールフォーラム（ISSF）」の年次総会において、愛知県国際展示場内に設置した垂直緑化ユニット「パーティカル・フォレスト[®]」により「Best Development Award（開発賞）」の銅賞を受賞しました。

本垂直緑化ユニットは、2005年の「愛・地球博」での愛知県の環境への取り組み姿勢を継承し、四季を通じて多様な草花を来場者に提供する空間を創出することを目的に設置されました。

国際展示場は中部国際空港の空港島に位置しており、高い耐風圧性能、耐塩害性能に加え、植物への水やりにより常時湿気が多く、特に耐候性に配慮した材料が求められていました。

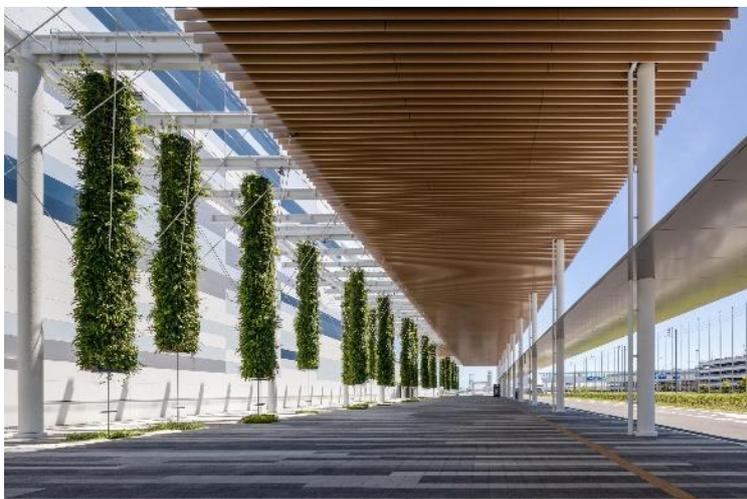
今回、上記条件に対応するステンレス鋼（合計約70トン）を採用することで、施工後のメンテナンスコスト低減を図りつつ、安全・安心で意匠性の高い垂直緑化を実現した新用途開発事例として、受賞に至りました。

なお、当社は本垂直緑化ユニットに関して、株式会社竹中工務店に設計協力を行うとともに、ステンレス鋼構造物エンジニアリングとして工場製作および現場施工を手掛けました。

引き続き、ステンレス鋼材・エンジニアリングにより、付加価値の高い製品を市場に提供し、地球に優しい社会の実現に貢献していきます。

【垂直緑化ユニット「パーティカル・フォレスト[®]」概要】

1. 場所： 愛知県国際展示場（愛知県常滑市セントレア5丁目10番1号）
2. 仕様： メインゲートとなる大庇（長さ200m、軒下11.5m）の下に、長さ9mの垂直緑化ユニット「パーティカル・フォレスト[®]」45本を吊り下げ
3. 使用鋼材： 心棒：SUS316Aステンレス鋼管
緑化パネルを支持するリング：SUS316ステンレス形鋼 } 約70トン
4. 竣工： 2019年6月
5. 発注： 愛知県
6. 設計・施工： 株式会社竹中工務店



垂直緑化ユニット「パーティカル・フォレスト[®]」



「パーティカル・フォレスト[®]」の
心棒およびリング